

草の根・人間の安全保障無償資金協力

「チクワワ県ンチャロの洪水被災地域におけるモントフォート病院 手術棟建設計画」

署名式

2019年10月16日



写真：（左から）クリスチャン保健協会ゾウエラ代表，保健省ラングェ計画局長，モントフォート病院チワヤ管理主任，柳沢大使，モントフォート病院理事長フランシス神父，モントフォート病院ビリ主任医師

2019年10月16日水曜日，柳沢大使と，チワヤ・モンフォート病院管理主任は，「チクワワ県ンチャロの洪水被災地におけるモントフォート病院手術棟建設計画」に関する草の根・人間の安全保障無償資金協力贈与契約を締結しました。本贈与契約署名式は，在マラウイ日本国大使館で行われ，保健省のラングェ計画局長も列席しました。

持続可能な開発目標3：「すべての人々の健康的な生活の確保および幸福の促進」に記されているように、健康の改善はどの国にとっても重要な課題です。一方で、気候変動は現実であり人々の健康への影響は明らかです。とりわけ、洪水のような大きな災害は、安全な飲料水や食料へのアクセスを妨げ、感染症のリスクを高め、病院へのアクセスにも影響を及ぼします。適切な妊娠ケアへのアクセスの欠如は、分娩中の合併症のリスクをさらに高め、母体および新生児の死亡リスクを高めます。2019年3月に発生したサイクロン・イダイによる洪水の際、チクワワ県はマラウイで最も被害を受けた地域のひとつでした。この災害時に、モントフォート病院は洪水被害を免れて、病院スペースや医療機器が不足しているにもかかわらず地域被災住民への救済活動を継続しました。日本政府は、草の根・人間の安全保障無償資金協力プロジェクトを通じて、チクワワ地区ンチャロの洪水被災地にあるモントフォート病院が新たに手術棟を建設するための資金として81,234米ドルを提供します。この資金は、一般手術および出産に関する手術の両方に役立つ手術棟建設に使用されます。

柳沢大使は、「このプロジェクトは日本の災害リスク軽減政策に沿っています。我が国は世界で最も災害が発生しやすい国のひとつとして、自然災害のリスクをしっかりと理解しています。レジリエンスの強化により、社会は予測できる被害を減らすことで、自然災害への対処ができます。手術室の建設が早ければ早いほど、より多くの患者が恩恵を受けます。」と述べ、合意された期間内に手術棟建設を完了させるよう訴えました。